

世界最高峰バーテンダーコンペティション 「DIAGEO WORLD CLASS 2026 Japan Final」 日本 No.1 バーテンダーが決定

**6度目の挑戦、部門賞三冠達成の快挙を果たし、総合優勝を獲得
～日本大会史上初の一般公開、「WORLD CLASS COCKTAIL FESTIVAL」も同時開催～**

世界 180 以上の国々で酒類ブランドを展開する英国大手酒造企業のディアジオ社の完全子会社ディアジオ ジャパン株式会社（本社：東京都港区、以下ディアジオ ジャパン）は、51 カ国以上の国と地域からバーテンダーがしのぎを削る世界規模の大会「DIAGEO WORLD CLASS 2026」の日本予選となる「DIAGEO WORLD CLASS 2026 Japan Final」を、2026 年 7 月 9 日（木）に六本木ヒルズで開催いたしました。

今年は大会史上初めて一般公開で実施し、「WORLD CLASS COCKTAIL FESTIVAL」を同時開催。国内外のトップバーテンダーによるオリジナルカクテルやフード、DJ パフォーマンスなどを楽しめる空間に多くの来場者が訪れ、日本最高峰のバーテンダーを決める熱戦を間近で見守りました。真剣勝負を間近で体感しました。会場には、競技の一挙手一投足を見守る緊張感と、完成した一杯に向けられる拍手や歓声が広がり、世界大会への切符をかけた真剣勝負ならではの熱気に包まれました。



DIAGEO

Japan

SHAKE UP THE WORLD CHALLENGE :

自身が感銘を受けた女性バーテンダーに敬意を表し、最高級テキーラ「ドン・フリオ 1942」をベースに、その人物のストーリーや魅力を一杯のカクテルで表現するチャレンジ。ファイナリストたちは、影響を受けた人物への想いやエピソードを語りながら、香り、味わい、グラスの演出にそれぞれの解釈を込めました。ステージ上では、観客がプレゼンテーションに耳を傾けるなか、カクテルに込めたストーリーと技術が一体となった、個性豊かな一杯が披露されました。

ON TOP OF THE WORLD CHALLENGE :

世界の頂点に立つバーテンダーに求められるすべての力が試される最終チャレンジ。ファイナリストは、「タンカレー ナンバーテン」または「ザ シングルトン ダフタウン 12 年」をベースに、世界大会チャンピオンにふさわしい一杯をステージ上で創作しました。限られた時間と大きなプレッシャーの中で、技術力、表現力、対応力、そしてホスピタリティまでが問われる、まさに日本代表を決めるにふさわしい緊張感あふれるチャレンジとなりました。



日本チャンピオンは長尾 和明さん 6 度目の挑戦で部門賞三冠達成の快挙を果たし、総合優勝を獲得

激戦を制し、日本代表として世界大会への切符を勝ち取ったのは、長尾 和明さん。優勝者の名前が発表されると、会場は大きな拍手と歓声に包まれ、大勢の観客やファイナリスト、関係者から祝福の聲が送られました。長尾さんは、4 つの部門のうち 3 部門で部門賞を獲得する快挙を成し遂げ、圧倒的な実力で総合優勝を果たしました。

トロフィーを手にした長尾さんは、「書類審査から始めると 6 年。このコンペティションに挑戦し続ける中で、本当にたくさんの方に支えていただき、この賞を勝ち取ることができました。」と、感極まった様子で喜びを語りました。

さらに、「世界大会では、日本代表として素晴らしいカクテルを作ってきてみたいです。」と、今年 10 月にスコットランドで開催される「DIAGEO WORLD CLASS 2026」世界大会への力強い意気込みを語りました。

受賞後には、歴代チャンピオンたちから祝福の胴上げが行われ、会場全体が大きな拍手と歓声に包まれるなど、日本チャンピオンの誕生を祝福する温かな空気に満ちあふれました。



■総合順位&部門優勝

【総合順位】

1位：長尾 和明 -Bar LIBRE-

【部門優勝】

TIKI MALT CHALLENGE

優勝：長尾 和明 -Bar LIBRE-

WORLD CLASS SKILLS CHALLENGE

優勝：増田 光汰 -京王プラザホテル メインバーブリアン-

SHAKE UP THE WORLD CHALLENGE

優勝：長尾 和明 -Bar LIBRE-

ON TOP OF THE WORLD CHALLENGE

優勝：長尾 和明 -Bar LIBRE-

■「DIAGEO WORLD CLASS 2026 Japan Final」開催概要

開催日時：2026年7月9日（木）

会場：六本木ヒルズアリーナ（東京都港区六本木6-10-1）

2026 Finalists（敬称略・50音順）：

上口 健斗 -夜香木-

川合 信護 -BAR chord-

杵築 拓美 -CITADEL-

小林 優也 -memento mori-

島 直右 -Cocktail Bar Hedonist-

鈴木 新 -晴夜-

Shrestha Ramesh -VIRTU Fourseasons Hotel Tokyo at Otemachi-

長尾 和明 -Bar LIBRE-

中島 悠輔 -花伝-

増田 光汰 -京王プラザホテル メインバーブリアン-

「WORLD CLASS COCKTAIL FESTIVAL」も大盛況

大会と同時開催された「WORLD CLASS COCKTAIL FESTIVAL」では、昨年の「WORLD CLASS」世界チャンピオンであるフェリーチェ・カパッソ（Felice Capasso）氏をはじめ、日本歴代チャンピオンや国内外のトップバーテンダーが集結。

各バーテンダーによるこの日限定のオリジナルカクテルが提供されたほか、DJによる音楽やフードコンテンツも展開され、来場者は世界レベルのカクテルカルチャーを体験。競技観戦とともに会場全体が大きな賑わいを見せました。



スペシャル動画『WORLD CLASS JOURNEY- 日本から世界へ挑む、バーテンダーの軌跡 -』を公開中

本イベント開催を記念し、世界を目指すトップバーテンダーたちの挑戦と成長の軌跡に迫る YouTube 番組『WORLD CLASS JOURNEY - 日本から世界へ挑む、バーテンダーの軌跡 -』を、WORLD CLASS 公式 YouTube チャンネルにて開始します。本シリーズでは、WORLD CLASS に挑むバーテンダーたちのストーリーを通じて、バーテンダーという仕事の魅力や、世界最高峰の舞台を目指す挑戦の軌跡を紹介していきます。

その第一弾として、昨年の日本大会で史上最年少優勝を果たした岸田茉莉奈さんにフォーカスしたエピソードを公開。動画では、アジア最高峰のバーアワード「Asia's 50 Best Bars」に3年連続で選出された Gold Bar at EDITION を舞台に、岸田さんが華麗なバーテンディングを披露。また、WORLD CLASS への挑戦をともにしたカクテルを実際に作りながら、その魅力を紹介しています。さらに、バーテンダーを志した原点から、WORLD CLASS で史上最年少優勝を成し遂げるまでの挑戦の日々、そして世界の舞台へ挑む現在の思いを語っています。



タイトル : World Class Journey | vol.1 岸田茉利奈 | バーテンダー未経験から日本大会最年少優勝へ

URL : https://youtu.be/v2TBY0B3phA?si=DPl-xD_1hQe6dwIS

DIAGEO WORLD CLASS について

2009年イギリスのロンドンで始まり、2026年で17回目を迎える「DIAGEO WORLD CLASS (ディアジオ・ワールドクラス)」は、“Raising the Bar” (世界中のバー文化と価値を高める、そしてバーを通してお酒の楽しさ、素晴らしさをお客様に伝えていく) をコンセプトに、51カ国以上の国と地域から選ばれたバーテンダーがしのぎを削る世界規模の大会です。



■ DRINKiQ

ディアジオ ジャパンは2030年に向けて、持続可能な世界を実現する取り組みとして、サステナビリティの推進の他にポジティブ・ドリンクの啓発を計画しています。その一環として、適正飲酒のサポートや、お酒の知識を学ぶことができるWebサイト「DRINKiQ」を公開中。

<https://www.drinkiq.com/ja-jp/>

